

令和4・5年度委員会活動方針

総務委員会

総務委員会では、新潟県建築士会の活動が計画的かつ円滑に実施できるよう創意工夫をしながら運営方針の変革を行い、会員相互の連携や活発な事業の実施ができるよう活動をしていきます。

また、広報部会においては建築士会の活動内容と意義・成果を広く会員に向けて分かりやすくタイムリーに伝えることができるよう、戦略的な広報活動を行っていきます。

総務委員会広報部会

建築士として必要な情報や建築士会の各種活動を正確にそして分かり易く伝える為、会報誌やリニューアルしたHPをブラッシュアップすると共に、未入会建築士の方へ建築士会の楽しさを、一般の方へ建築士会の存在を伝えられるような方策を検討します。

また、今年度は関ブロ新潟大会や創立70周年記念事業が開催されます。担当委員会と連携をとりながら事業成功の機運を盛り上げていきたいと思えます。

事業・研修委員会

- ・これまで行われてきた事業で、継続して行くべき事業は、内容を精査し今までの形態にとらわれず継続して行く。
- ・全会員が職能向上のため「参加できる、参加したくなる」事業を企画、実行する。
- ・各支部・ブロックの活動を活性化させるような事業を企画、提案し、各支部・ブロックで実施できるよう支援を行う。

まちづくり委員会

まちづくり委員会が支援することにより、地域や団体の活動が「持続・発展」できることを目指します。またそれらの活動を通じ、委員として「自分自身のやりがいと喜び」を感じ充実した委員会活動を行うことを目指します。

青年委員会

県内15支部から構成される青年委員会は青年委員同士の横のつながりを積極的に作りだし、各支部とのパイプ役となるため縦の繋がりを作りやすい委員会とする。特に青年層建築士の会員増加と、会員同士の交流を主な目的とし、委員会内で積極的な意見交換ができる県青年委員会を目指す。

女性委員会

- ・女性としての視点を活かしながら、自己研鑽と社会・地域に貢献できる事業を実施し、他委員会とも連携協力して仲間づくりをすすめる。
- ・リモート会議ツールなども活用しつつ、合理的で簡潔でありながらも活発なコミュニケーションを目指し、明るく風通しのよい委員会運営に努める。また、これまでの活動のノウハウや実績を活かしながら、新しい発想を探っていく。
- ・これからの社会と環境に役立つために、今建築士である私たちが出来ること、やっていきたいことを念頭に置きながら事業計画を進める。

ヘリテージマネージャー特別委員会

ヘリテージマネージャー特別委員会は、地域社会における歴史文化遺産（指定・登録・未指定・未登録のものを含めての遺産）の在り方を見据え、その保存・保全・活用・維持に貢献する活動を支援することを目的とし新潟県及び全国のヘリテージマネージャーのネットワークづくりを推進するとともに、自己研鑽による技術・知識の向上と地域貢献・社会貢献活動の活性化に関する情報提供を行う。

災害対策検討特別委員会

- ・新潟県北部豪雨（令和4年8月）における本会対応の評価を行い、会員間で共有するため、報告会・勉強会などを開催する。
- ・災害対応力の強化について検討し、強化プログラムを作成する。